

霧島市新規就農支援センターの設立について

① 現状と課題

農業従事者の減少、高齢化及び後継者不足が急速に進行し、地域農業の担い手不足が深刻化している。将来にわたり地域農業・農村の維持・発展を図るためには、新規就農者の確保・育成が重要かつ喫緊の課題となっている。

本市では、新規就農者を確保するため、平成24年度に開始された「農業次世代人材投資事業」を活用しつつ、平成30年度からは本市独自の新規就農支援として「事業対象年齢の引き上げ（45歳未満→55歳未満）」や「市独自の準備型の導入」、「農家子弟要件の緩和」など、当該事業の交付対象要件を拡充する事業を開始した。

今後、新規就農者の確保・育成をさらに推進するため、関係機関の十分なる相互の連携の下、就農相談から就農、経営安定、定着の段階まできめ細やかな支援が実現できるよう支援体制を強化する必要がある。

農業を取り巻く現状

農業従事者の減少・高齢化・後継者不足などの急速な進行

地域農業の深刻な担い手不足

支援体制の強化が必要

② 課題に対する取組

新規就農者への支援体制を強化するため、新規就農者にターゲットを絞って支援する「霧島市新規就農支援センター」を設立する。

担い手全般を支援対象とする「霧島市担い手育成総合支援協議会」の内部に支援センターを位置付け、既存組織である「担い手アクションサポートチーム」から新規就農者に関する業務を引き継ぐ。また、構成メンバーには指導農業士を加え、支援対象者ごとにチームを編成しては場確認・助言指導するなど、効果的かつきめ細やかな支援を実施する。

霧島市担い手育成総合支援協議会

【構成メンバー】

- ・霧島市
- ・霧島市農業委員会
- ・あいら農業協同組合
- ・始良・伊佐地域振興局

担い手アクションサポートチーム

- 【構成メンバー】
- ・協議会メンバー

【業務】

- ・農業経営改善計画の審査
- ・青年等就農計画の審査

引継

霧島市新規就農支援センター

【構成メンバー】

- ・協議会メンバー
- ・指導農業士

【業務】

- ・サポートチームによるは場確認・助言指導
- ・新規相談受付
- ・青年等就農計画等の審査会の開催
- ・中間評価に係る評価会の開催
- ・新規就農担当者会の開催

チーム

チーム

チーム

協力

各種団体

- ・技連会
- ・認定農業者の会
- ・指導農業士会
など

③ 期待される効果

- ・支援対象者ごとにチームを編成し、きめ細かな支援を実施する体制が整う。
- ・新規就農者に関する認定審査等が、一貫して実施できる。
- ・支援対象者ごとにチームを編成し、評価会の開催を適切に実施できる。
- ・新規就農担当者会を定期的に開催することで、関係機関の情報共有が促進される。